

『ホルモンと脳腫瘍』

ホルモンとは何か知っていますか？ホルモンとは、血液の中に微量に分泌されて体内の遠くにある臓器をゆるやかに調節する物質です。良く知られているものには、精巣や卵巣から分泌される男性・女性ホルモンというものがあります。

ホルモンとは何か知っていますか？ホルモンとは、血液の中に微量に分泌されて体内の遠くにある臓器をゆるやかに調節する物質です。良く知られているものには、精巣や卵巣から分泌される男性・女性ホルモンというものがあります。

クチン（乳腺刺激ホルモン）③副腎皮質刺激ホルモン④甲状腺刺激ホルモン⑤性腺刺激ホルモンなどです。この下垂体に良性ですが腫瘍ができることがあります。「下垂体腺腫」と呼ばれ、成人の脳腫瘍の中では3番目に多いものです。この下垂体腺腫の症状には大きく2つあり、腫瘍が大きくなって近くにある視神経を圧排して視野狭窄（視野狭小）を起こすものと、先ほど述べたホルモンの分泌過剰症状です。この分泌過剰症状には特別な検査をしなくても病気を疑わせる特有の症状があります。たとえば成長ホルモン分泌過剰では、手足が大きく

なったり（指輪が入らない、靴のサイズが毎年大きくなる）、顔貌の変化（眉間が飛び出て唇や舌が大きくなり、クラス会などで久しぶりに会った時に指摘される）です。プロラクチン分泌過剰では、妊娠していないにもかかわらず乳汁が出たり生理が止まります。また副腎皮質刺激ホルモン分泌過剰症状は、満月様顔貌（満月のような丸い顔）や著明な肥満です。これらの症状が疑われる場合には、一度脳神経外科に相談してみてください。腫瘍が見つかった場合には、鼻孔から行う特殊な手術で治療できます。



函館中央病院
加藤 功 脳神経外科 診療部長

昭和59年、旭川医科大学医学部卒業。パリ大学医学部附属ラリボアジエール病院脳神経外科、北海道大学病院脳神経外科講師を経て、平成10年から函館中央病院脳神経外科に勤務し、同科医長、科長を歴任。平成18年、同病院脳神経外科診療部長就任、平成22年9月から医療安全管理室長を兼務。日本脳神経外科学会専門医、日本間脳下垂体腫瘍学会、日本脳神経外科コンgres。



函館中央病院

函館市本町33-2
☎0138-52-1231(代)
<http://www.chubyou.com/>

診療科目／内科・消化器内科、循環器内科
小児科、外科、整形外科、
形成外科、脳神経外科など
全17科目

受付時間／9:00～11:30・14:00～16:00
※土曜は午前のみ。
科や時間帯によっては要予約。
休日／日曜・祝日